

令和7年 第3回標準化カフェ

国際標準化

一般財団法人日本情報経済社会推進協会

CONTENTS

- 1. 自己紹介
- 2. 国際標準化について
- 3. ISO/TC307(国内審議団体)

について

自己紹介

1.自己紹介

- 氏名 **野町 綺乃**
- 所属 一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) 電子情報利活用研究部 調査研究グループ 研究員
- 従事業務
 - ISO/TC307に係る国内審議団体(事務局)の運営
 - プライバシーや個人情報保護に係る調査・研究
 - データ活用・流通に係る調査・検討会運営

など

2

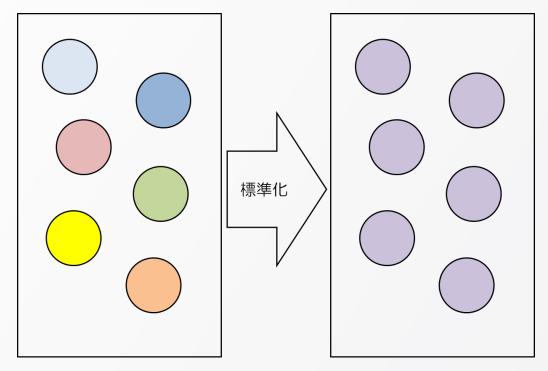
国際標準化について

2.国際標準化について

【標準化とは】

<u>バラバラの基準で作成されていたものに一定の基準を設け、その基準</u> の中で作成できるようにする活動のこと。

● 日本で購入したUSBを使用する際に、日本製PCだけでなく、海外製PCでも 使用することができるのは、USBについての標準化がされているため。



規格について

【規格とは】

標準化した内容の結果を文書化したもの

※厳密には「コンセンサスに基づいて作成、認知された団体によって承認された文書であり、 公衆に繰り返し使用されるため、諸活動又はその結果についての規則、指針又は特性を 規定し、所定の文脈の中で最も望ましい水準の達成を目指したもの」

(ISO/IEC専門業務用指針 第二部 3.1.1より)

階層別	成立の由来別	規制との関係	
国際規格 ISO、IEC	デジュール規格 ISO、JIS	任意規格	
地域規格 CEN-CENELEC	デファクト規格 Microsoft	江总水伯	
国家規格 JISC	Windows		
業界(団体)規格 IEEE	フォーラム規格 DVD-ROM	強制規格	

3

ISO/TC307(国内審議団体)について

3.ISO/TC307(国内審議団体)について

【ISO/TC307とは】

ブロックチェーンと分散台帳技術に係る専門委員会のこと (Blockchain and distributed ledger technologies)

- 幹事国:オーストラリア
- 区分及び国数:
 - Pメンバー(Participating Members:参加メンバー) 43カ国(日本) TCの業務に積極的に参加する会員のことで、投票の義務や会議への 貢献の義務がある。
 - ※投票を怠った場合には、Oメンバーへの降格の対象となることもある。
 - ➤ Oメンバー(Observing Members:傍聴メンバー) 20カ国 オブザーバとして参加する会員のことで、文書の受領や会議に出席する といった権利はあるが、投票はできない。
- Plenary会議 (総会) :年2回(春・秋)に開催されている。
- WG (作業部会): 各WGごとに定期的に開催されている。

黒字で国名、赤字で標準機関名が記載されている。

Australia	SA	Israel	SII	Russian Federation	GOST R
Austria	ASI	Italy	UNI	Saudi Arabia	SASO
Belgium	NBN	Japan	JISC	Singapore	SSC
Brazil	ABNT	Kazakhstan	CTRM	Slovakia	UNMS SR
Canada	SCC	Korea, Republic of	KATS	Slovenia	SIST
China	SAC	Luxembourg	ILNAS	South Africa	SABS
				Spain	UNE
Cyprus	CYS	Malaysia	DSM	Switzerland	SNV
Czech Republic	UNMZ	Malta	MCCAA	Thailand	TISI
Finland	SFS	Netherlands	NEN	Türkiye	TSE
France	AFNOR	New Zealand	NZSO	Uganda	UNBS
Germany	DIN	Nigeria	SON	Ukraine	SE UkrNDNC
Hungary	MSZT	Norway	SN	United Arab Emirates	MoIAT-STR
India	BIS	Poland	PKN	United Kingdom	BSI
Ireland	NSAI	Portugal	IPQ	United States	ANSI

黒字で国名、赤字で標準機関名が記載されている。

Argentina	IRAM	Iran, Islamic Republic of	INSO
Belarus	BELST	Jamaica	BSJ
Bulgaria	BDS	Kenya	KEBS
Cambodia	ISC	Mexico	DGN
Colombia	ICONTEC	Morocco	IMANOR
Croatia	HZN	North Macedonia	ISRSM
El Salvador	OSN	Palestine, State of	PSI
Estonia	EVS	Philippines	BPS
Hong Kong Special Administrative Region of	ITCHKSAR	Prinippines	DPS
China		Romania	ASRO
Indonesia	BSN	Uruguay	UNIT

参考)組織構成

Reference ↑	Title	Туре
ISO/TC 307/AG 1 (i)	SBP Review Advisory Group	Working group
ISO/TC 307/AG 2 (i)	Liaison Advisory Group	Working group
ISO/TC 307/AG 4 (i)	Communications	Working group
ISO/TC 307/AHG 4 (i)	DLT and carbon markets	Working group
ISO/TC 307/AHG 5 (i)	Foundations Review	Working group
ISO/TC 307/CAG 1 (i)	Chair's Advisory Group	Working group
ISO/TC 307/JWG 4 (i)	Joint ISO/TC 307 - ISO/IEC JTC 1/SC 27 WG: Security, privacy and identity for Blockchain and DLT	Working group
ISO/TC 307/WG 1 (i)	Foundations	Working group
ISO/TC 307/WG 3 (i)	Smart contracts and their applications	Working group
ISO/TC 307/WG 5 (i)	Governance	Working group
ISO/TC 307/WG 6 (i)	Use cases	Working group
ISO/TC 307/WG 7 (i)	Interoperability	Working group
ISO/TC 307/WG 8 (i)	Tokenization of assets	Working group

Joint working groups under the responsibility of another committee

Reference ↑	Title
ISO/TC 46/SC 11/JWG 1	Joint ISO/TC 46/SC 11 - ISO/TC 307 WG: Blockchain
ISO/TC 68/JWG 1	Joint ISO/TC 68- ISO/TC 307 WG: Digital Currencies

参考)発行済みの規格(12規格)

※25/10/2時点

Working at	Reference	Title
WG1	ISO/22739:2024	語彙
(基礎)	ISO/23257:2022	リファレンスアーキテクチャ
	ISO/TS 23258:2021	
JWG4 with SC 27	ISO/TR 23244:2020	プライバシーと個人情報保護に関する考慮事項
(ブロックチェーンと DLTのセキュリティ、プ	ISO/TR 23249:2022	ID管理のための既存のDLTシステムの概要
ライバシー、及びアイデ	ISO/TR 23576:2020	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
ンティティ)	ISO/TR 23644:2023	DLTベースのID管理のためのトラストアンカーの概要
WG3 (スマートコントラクト とその応用)	ISO/TR 23455:2019	ブロックチェーンと分散台帳技術システムに おけるスマートコントラクトの概要と相互作用
WG5 (ガバナンス)	ISO/TS 23635:2022	ガバナンスのガイドライン
WG6	ISO/TR 3242:2022	ユースケース
(ユースケース)	ISO/TR 6039:2023	ブロックチェーンシステム設計のための主体と物体の識別子
	ISO/TR 6277:2025	ブロックチェーンとDLTユースケースのデータフローモデル

参考) 開発中の規格(17規格)

※25/10/2時点

Working at	Reference	Title
JWG4 with SC 27	ISO/WD 23042	DLTベースの分散型IDシステムのリファレンスアーキテクチャ
(ブロックチェーンと	ISO/WD 24875-1	- Part 1:安全な開発
DLTのセキュリティ、	ISO/WD 24875-2	Part 2:コードレビュー
プライバシー、及び	ISO/WD TS 24875-3	Part 3:総合的な診断方法
アイデンティティ)	ISO/WD 24876.4	DLTベースのID管理にトラストアンカーを使用する場合の プライバシー保護
	ISO/CD 24946	DLTシステムのプライバシー機能を改善、維持、評価するための要件と
	130/60 24340	ガイダンス
	ISO/WD 25126.4	分散型台帳サービスにおける ISO/IEC 27002 に基づく
	<u> </u>	情報セキュリティ管理
WG3	ISO/DTS 18126	スマートコントラクトの分類と分類
(スマートコントラクト とその応用)	ISO/CD PAS 24874	持続可能な開発目標(SDGs)への貢献におけるスマートコントラクトの 使用に関するガイダンス
C (7 // 6/13 /	ISO/DTR 25145	DLTベースのコレクション及びコレクションの管理の概要
WG5	ISO/CD TS 23353.2	監査ガイドライン
(ガバナンス)	ISO/AWI TS 25481	ブロックチェーンとDLTにおけるDAOのガバナンス
WG6	ISO/WD TR 24878	DLT/ブロックチェーンの新たなユースケース
(ユースケース)	ISO/AWI TR 26218	DLTと炭素市場のユースケース
WG7 (相互運用性)	ISO/DTS 23516	相互運用性フレームワーク
WG8	ISO/DIS 20435	トークンを使用して物理的資産を表現するためのフレームワーク
(アセットのトークン化)	ISO/AWI 25316	トークンを用いた非金融デジタル資産の表現

体制(国内外)について

【JIPDECの位置付け】

ISO/TC307の日本の国内審議団体として活動

JIPDECは、経済産業省に設置されている審議会である日本産業標準調査会(JISC)の承認を受け、2016年から、ISO/TC307の日本の国内審議団体として、JISCに代わり、事務局業務を実施している。

